

プロパティの保存・読み込み・参照

目次

1.プロパティの保存	2
2.保存セットの設定	5
保存セットの新規作成	
出力するプロパティ項目	
出力方法	
保存セットの編集	
保存セットの保存・読み込み	
3.プロパティの読み込み	18
読み込みに対応している項目	
読み込むファイルの作成	
プロパティの読み込み	
読み込み方法の編集	
4.プロパティの参照	25
CSVファイルの参照	
読み込むカテゴリ	
プロパティ項目の設定	
参照の削除	
参照の更新	

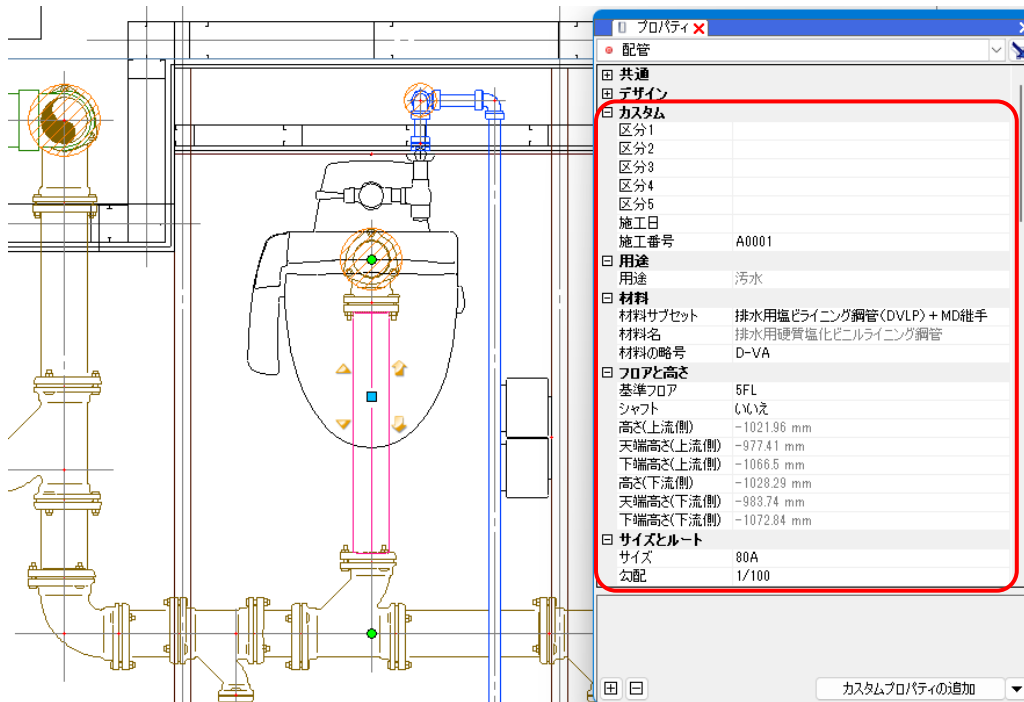
更新日：2024/10/17 Rebro2024対応

1. プロパティの保存

モデル要素のプロパティ情報を、カンマ区切り(*.csv)またはタブ区切り(*.txt)のテキストファイルに保存します。

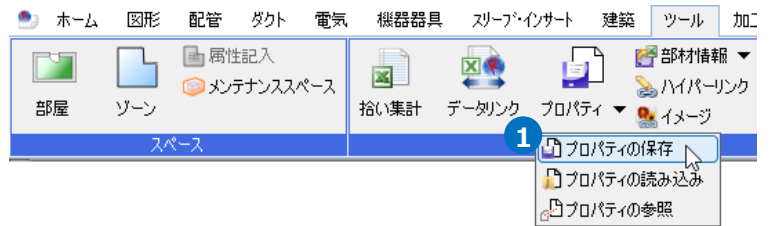
カンマ区切りのテキストファイルは、Excel等、他のアプリケーションで使用することができます。

タブ区切りのテキストファイルは、メモ帳などでファイルを開き、内容をコピーしてExcelに貼り付けて使用することができます。

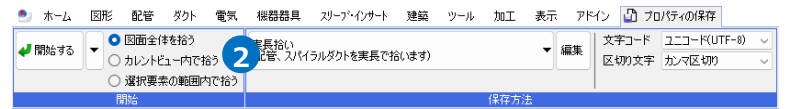


	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	施工番号	用途	材料サブセット	材料名	部材名	材料の略号	サイズ	基準フロア	個数(合計)
2	A0001	汚水	排水用塩ビライニング鋼管 (DVLP) + MD継手		排水鋼管用可とう継手(MDジョイント) 45°エルボ	YL	50 5FL		4
3	A0001	汚水	排水用塩ビライニング鋼管 (DVLP) + MD継手		排水鋼管用可とう継手(MDジョイント) 90°大曲りY	TY	100 5FL		13
4	A0001	汚水	排水用塩ビライニング鋼管 (DVLP) + MD継手		排水鋼管用可とう継手(MDジョイント) 90°大曲りエルボ	LL	100 5FL		3
5	A0001	汚水	排水用塩ビライニング鋼管 (DVLP) + MD継手		排水鋼管用可とう継手(MDジョイント) 90°大曲りエルボ	LL	80 5FL		6
6	A0001	汚水	排水用塩ビライニング鋼管 (DVLP) + MD継手	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管		D-VA	100 5FL		17
7	A0001	汚水	排水用塩ビライニング鋼管 (DVLP) + MD継手	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管		D-VA	50 5FL		10
8	A0001	汚水	排水用塩ビライニング鋼管 (DVLP) + MD継手	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管		D-VA	80 5FL		12

- 1 [ツール]タブ-[プロパティ]をクリックし、[プロパティの保存]をクリックします。



- 2 プロパティ情報を保存する要素の範囲を指定します。

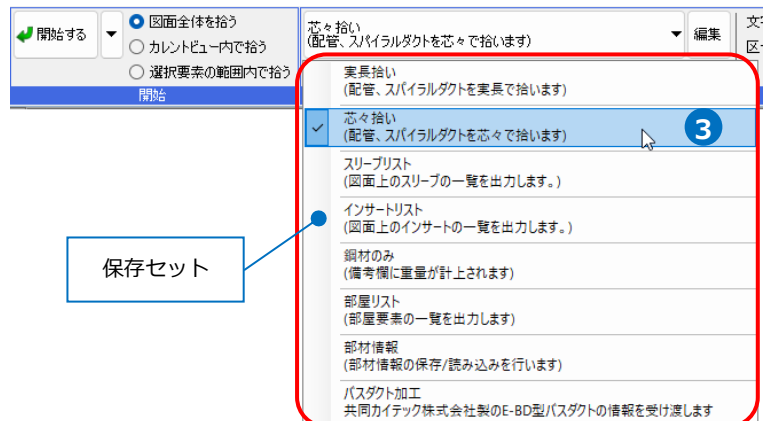


「図面全体を拾う」を選択すると、図面の全ての要素を保存します。

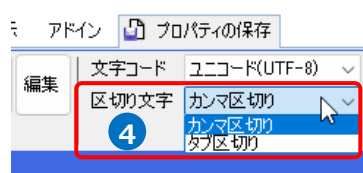
「カレントビュー内で拾う」を選択すると、指定したビューに表示されている要素を保存します。

「選択要素の範囲内で拾う」を選択すると、選択した要素のみ保存します。

- 3 保存セットを選択します。



- 4 保存する区切り文字の種類を選択します。



● 補足説明

「カンマ区切り」を選択すると、(*.csv)で保存します。

※Excelで開いた場合

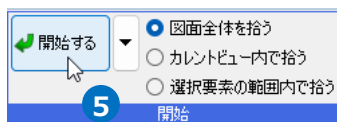
	A	B	C	D	E	F
1	グループ	大分類	中分類	名称	用途	品目・材料
2	スリーブ・インサート / スリーブ					ポイド
3	スリーブ・インサート / スリーブ					ポイド
4	スリーブ・インサート / スリーブ					ポイド
5	スリーブ・インサート / スリーブ					ポイド
6	スリーブ・インサート / スリーブ					ポイド
7	機器・器具 / 衛生器具	衛生器具	アクセサリ	二連紙巻器		
8	機器・器具 / 衛生器具	衛生器具	パブリック用関連器具	バック付き掃除流し		
9	機器・器具 / 衛生器具	衛生器具	大便器	フラッシュバルブ式便器		
10	機器・器具 / 衛生器具	衛生器具	小便器	自動洗浄小便器		
11	機器・器具 / 衛生器具	衛生器具	洗面器	カウンター式洗面器		
12	配管・ダクト / 弁類				給水	青銅製仕切弁(ねじ込み形)JIS10K
13	配管・ダクト / 排水金具				汚水	COA 掃除口(ねじ込み形)
14	配管・ダクト / 排水金具				雑排水	COA 掃除口(ねじ込み形)
15	配管・ダクト / 排水金具				雑排水	COA 掃除口(ねじ込み形)
16	配管・ダクト / 継手				汚水	MDジョイント
17	配管・ダクト / 継手				汚水	MDジョイント
18	配管・ダクト / 継手				汚水	MDジョイント
19	配管・ダクト / 継手				汚水	MDジョイント
20	配管・ダクト / 継手				汚水	MDジョイント
21	配管・ダクト / 継手				汚水	MDジョイント

「タブ区切り」を選択すると、(*.txt)で保存します。

※メモ帳で開いた場合

グループ	大分類	中分類	名称	用途	品目・材料	品目	材料	工法	型番	板
"スリーブ・インサート / スリーブ"					"ポイド"					
"スリーブ・インサート / スリーブ"					"ポイド"					
"スリーブ・インサート / スリーブ"					"ポイド"					
"スリーブ・インサート / スリーブ"					"ポイド"					
"スリーブ・インサート / スリーブ"					"ポイド"					
"機器・器具 / 衛生器具"	"衛生器具"	"アクセサリ"	"二連紙巻器"							
"機器・器具 / 衛生器具"	"衛生器具"	"パブリック用関連器具"	"バック付き掃除流し"							
"機器・器具 / 衛生器具"	"衛生器具"	"大便器"	"フラッシュバルブ式便器"							
"機器・器具 / 衛生器具"	"衛生器具"	"小便器"	"自動洗浄小便器"							
"機器・器具 / 衛生器具"	"衛生器具"	"洗面器"	"カウンター式洗面器"							
"配管・ダクト / 弁類"			"給水"	"青銅製仕切弁(ねじ込み形)JIS10K"						
"配管・ダクト / 排水金具"			"汚水"	"COA 掃除口(ねじ込み形)"						
"配管・ダクト / 排水金具"			"雑排水"	"COA 掃除口(ねじ込み形)"						
"配管・ダクト / 排水金具"			"雑排水"	"COA 掃除口(ねじ込み形)"						
"配管・ダクト / 継手"			"汚水"	"MDジョイント"					"LL"	
"配管・ダクト / 継手"			"汚水"	"MDジョイント"					"LL"	
"配管・ダクト / 継手"			"汚水"	"MDジョイント"					"LL"	

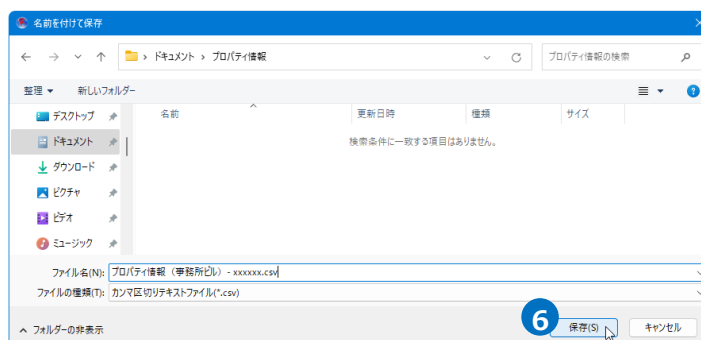
5 [開始する]をクリックします。



Memo

[▼]をクリックし[外部参照を含む]にチェックを入れると、外部参照データも含めてプロパティの保存ができます。

6 [名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。ファイル名を入力して[保存]をクリックします。
→テキストファイル(*.csv/* .txt)を保存します。

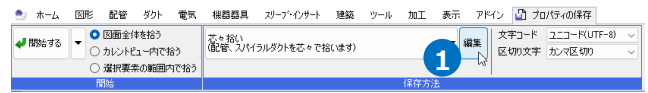


2.保存セットの設定

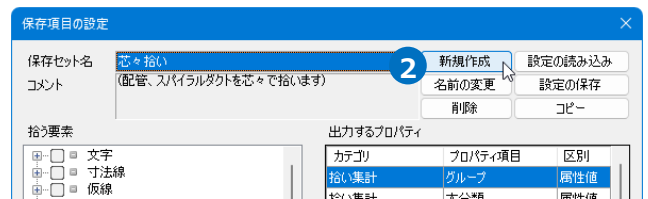
プロパティの保存項目を設定する保存セットを作成、編集します。

保存セットの新規作成

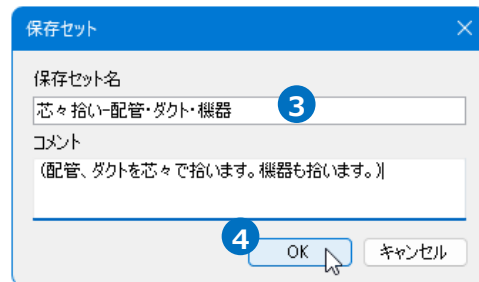
- 1 [ツール]タブ-[プロパティ]をクリックし、[プロパティの保存]より[編集]をクリックします。



- 2 [保存項目の設定]ダイアログの[新規作成]をクリックします。



- 3 [保存セット]ダイアログで保存セット名とコメントを入力します。

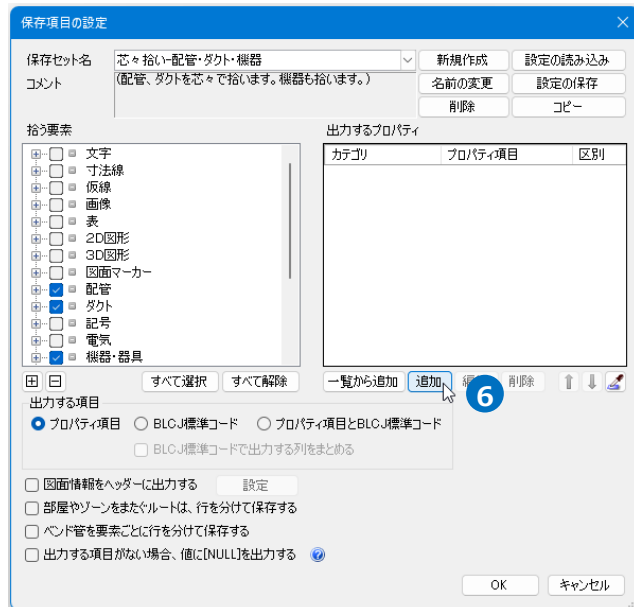


- 4 [OK]をクリックします。

- 5 [拾う要素]でプロパティを保存する要素名にチェックを入れます。



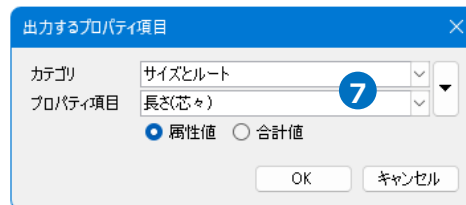
- 6 [出力するプロパティ]の項目を設定します。
 [追加]をクリックします。
 →[出力するプロパティ項目]ダイアログが表示されます。



- 7 [カテゴリ][プロパティ項目]を選択します。
 (詳細はp.8参照)

Memo

[一覧から追加]で、[拾う要素]で指定した要素のプロパティ項目の中から出力するプロパティを選択できます。また、スポイトをクリックし、図面上で要素選択をすると、選択した要素のプロパティ項目が表示され、その中から出力するプロパティが選択できます。



8 「属性値」または「合計値」を選択します。

Memo

「属性値」を選択すると、プロパティ項目の値をそのまま出力します。

A	B	C	D	E
1	用途 品目・材料	サイズ・板厚	長さ(芯々)	個数(合計)
2	汚水 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	100A	1000	3
3	汚水 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	100A	2000	1
4	汚水 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	100A	3000	1
5	汚水 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	50A	1000	1
6	汚水 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	50A	2000	1
7	汚水 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	80A	2000	2

「属性値」

「合計値」

「合計値」を選択すると、プロパティ項目の値の合計を出力します。

A	B	C	D	E
1	用途 品目・材料	サイズ・板厚	長さ(芯々)(合計)	個数(合計)
2	汚水 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	100A	8000	5
3	汚水 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	50A	3000	2
4	汚水 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	80A	4000	2

出力するプロパティ項目

カテゴリ サイズとルート

プロパティ項目 長さ(芯々)

属性値 合計値

9 OK キャンセル

9 [OK]をクリックします。

→[出力するプロパティ]に項目が追加されます。

保存項目の設定

保存セット名 芯々挿入配管ダクト機器

コメント (配管、ダクト、芯々で拾います。機器も拾います。)

拾う要素

出力するプロパティ

サイズとルート 長さ(芯々) 属性値

OK キャンセル

10 出力する項目を追加し、[OK]をクリックします。

→作成した保存セット名がリボンのドロップダウンメニューに追加されます。

保存項目の設定

保存セット名 芯々挿入配管ダクト機器

コメント (配管、ダクト、芯々で拾います。機器も拾います。)

拾う要素

出力するプロパティ

カテゴリ	プロパティ項目	区別
拾い集計	グループ	属性値
拾い集計	大分類	属性値
拾い集計	中分類	属性値
拾い集計	名称	属性値
用途	用途	属性値
拾い集計	品目・材料	属性値
拾い集計	型番	属性値
拾い集計	サイズ・板厚	属性値
サイズとルート	長さ(芯々)	属性値
プロパティ以外の項目	個数	合計値

OK キャンセル



ホーム 図形 配管 ダクト 電気 機器器具 スーパーインサート 建築 ツール 加工 表示 アドイン プロパティの保存

開始する

芯々挿入配管ダクト機器 (配管、ダクト、芯々で拾います。機器も拾います。)

文字コード ユニコード(UTF-8)

区切文字 カマ区切り

長さ挿入 (配管、スライダダクトを要素で拾います)

芯々挿入 (配管、スライダダクトを芯々で拾います)

スリーブリスト (図面上のスリーブの一覧を出力します。)

インサートリスト (図面上のインサートの一覧を出力します。)

鋼材のみ (僅量欄に重量が計上されます)

部品リスト (部品情報の一覧を出力します)

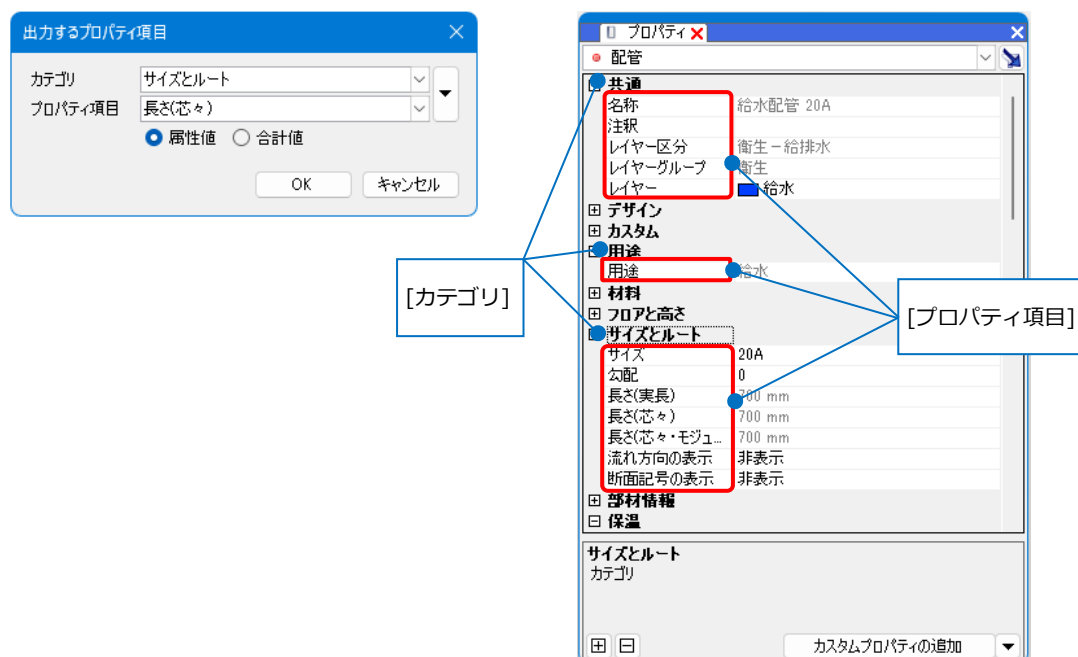
部品情報 (部品情報の保存/読み込みを行います)

バースタクト加工 (共同カイアック株式会社製のE-BD型バースタクトの情報を受け取ります)

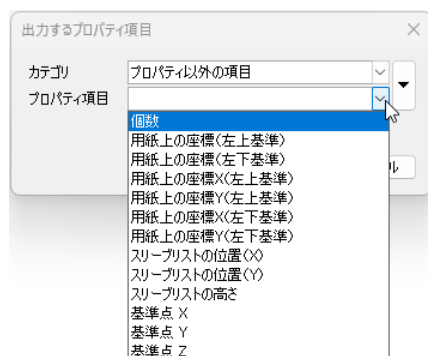
芯々挿入配管ダクト機器 (配管、ダクトを芯々で拾います。機器も拾います。)

出力するプロパティ項目

p.6⑦の[出力するプロパティ項目]ダイアログで、出力する「カテゴリ」と「プロパティ項目」を選択します。



カテゴリを「プロパティ以外の項目」にするとプロパティ項目にない情報を出力することができます。



プロパティ項目	内容
「個数」	要素の個数を出力
「用紙上の座標(左上/左下基準)」、「用紙上の座標 X(左上/左下基準)」、「用紙上の座標 Y(左上/左下基準)」	要素の用紙上の座標を出力 「用紙上の座標 X」、「用紙上の座標 Y」は X、Y の値を分けて出力
「スリーブリストの位置(X)」、「スリーブリストの位置(Y)」、「スリーブリストの高さ」	スリーブリストに出力される「位置」と「高さ」の値を出力
「基準点 X」、「基準点 Y」、「基準点 Z」	プロパティ項目[幾何情報]-[基準点]の X/Y/Z を列を分けて出力

プロパティ項目を「*」にすると、指定したカテゴリの中で、図面で使用されているすべてのプロパティ項目を出力できます。

出力するプロパティ項目

カテゴリ: 部品情報
 プロパティ項目: *

保存項目の設定

保存セット名: 部品情報リスト
 コメント: (部品情報の保存/読み込みを行います)

出力するプロパティ

カテゴリ	プロパティ項目	区別
識別情報	GUID	属性値
フロアと高さ	基準フロア	属性値
スペース	部屋	属性値
部品情報	*	属性値

プロパティ

機番	枝番	名称	型番	機番分類コード備考	設置区分	冷媒名	メーカー名	相	電圧[V]
0JgEpZODLBC1FL		4方向カセット形ビル用マ...	45形	マルチPAC(空冷HP)4方向カ...	4方向カ	屋内		単相	200
1E9WzpwBD01FL		4方向カセット	45形	マルチPAC(空冷HP)4方向カ...	4方向カ	屋内		単相	200

カテゴリ「部品情報」のプロパティ項目がすべて出力されます。

出力方法

[出力する項目]

ヘッダー行に出力する項目名を設定できます。

出力する項目

プロパティ項目
 BLCJ標準コード
 プロパティ項目とBLCJ標準コード

BLCJ標準コードで出力する列をまとめる

図面情報をヘッダーに出力する 設定

部屋やゾーンをまたぐルートは、行を分けて保存する

ベント管を要素ごとに行を分けて保存する

出力する項目がない場合、値に[NULL]を出力する

「プロパティ項目」

プロパティ項目名を出力します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	名称	基準フロア	冷房能力	冷房能力[kw]	暖房能力	暖房能力[kw]	電圧[V]
2	4方向カセット形 ビル用マルチエアコン 28形	1FL	2.8		3.2		200
3	4方向カセット形 ビル用マルチエアコン 45形	2FL		4.5		5	200

「BLCJ標準コード」

出力するプロパティ項目に設定されているBLCJ標準の仕様属性コードを出力します。BLCJ標準の仕様属性コードが未設定の場合は、プロパティ項目名を出力します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	名称	基準フロア	ACL_AB@QKW	ACL_AB@QKW	HTS_AB@QKW	HTS_AB@QKW	VOLTAGE@EV
2	4方向カセット形 ビル用マルチエアコン 28形	1FL	2.8		3.2		200
3	4方向カセット形 ビル用マルチエアコン 45形	2FL		4.5		5	200

「プロパティ項目とBLCJ標準コード」

1行目にプロパティ項目名、2行目にBLCJ標準の仕様属性コードの2行を出力します。BLCJ標準の仕様属性コードが未設定の場合は空欄になります。また、1列目に[プロパティの読み込み][プロパティの参照]の際に内容を判断するための情報(タグ)を出力します。([プロパティの読み込み]についてはp.18、[プロパティの参照]についてはp.25参照)

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	<ITEM_NAME>	名称	基準フロア	冷房能力	冷房能力[kw]	暖房能力	暖房能力[kw]	電圧[V]
2	<ITEM_ID>		ACL_AB@QKW	ACL_AB@QKW	HTS_AB@QKW	HTS_AB@QKW	VOLTAGE@EV	
3	<VALUE>	4方向カセット形 ビル用マルチエアコン 28形	1FL	2.8		3.2		200
4	<VALUE>	4方向カセット形 ビル用マルチエアコン 45形	2FL		4.5		5	200

[BLCJ標準コードで出力する列をまとめる]

「BLCJ標準コード」または「プロパティ項目とBLCJ標準コード」を指定している時に有効になります。

出力する項目

プロパティ項目
 BLCJ標準コード
 プロパティ項目とBLCJ標準コード

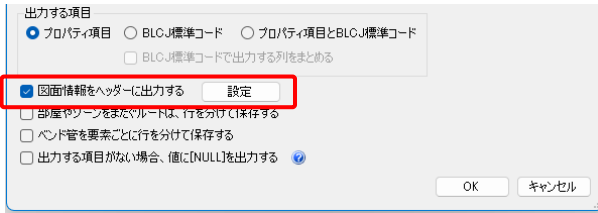
BLCJ標準コードで出力する列をまとめる

チェックを入れると、同じBLCJ標準コードで異なるプロパティ項目を出力する場合、BLCJ標準コードで1列にまとめることができます。プロパティ項目名は最初に見つかったプロパティ項目を出力します。プロパティ項目の値が空の場合は、次に見つかったプロパティ項目の値を出力します。

	A	B	C	D	E	F
1	<ITEM_NAME>	名称	基準フロア	冷房能力	暖房能力	電圧[V]
2	<ITEM_ID>			ACL_AB@QKW	HTS_AB@QKW	VOLTAGE@EV
3	<VALUE>	4方向カセット形 ビル用マルチエアコン 28形	1FL	2.8	3.2	200
4	<VALUE>	4方向カセット形 ビル用マルチエアコン 45形	2FL	4.5	5	200

[図面情報をヘッダーに出力する]

図面のプロパティや固定文字列をヘッダーに出力できます。



1 [図面情報をヘッダーに出力する]にチェックを入れ、[設定]をクリックします。

2 [図面のプロパティの追加]をクリックします。

3 ヘッダーに追加する図面のプロパティを選択します。

※タイトル表示名はヘッダーに出力される項目名です。選択したプロパティ項目名が初期値で入力されます。任意のタイトル表示名に変更できます。

4 [OK]をクリックします。

5 [固定文字列の追加]をクリックします。

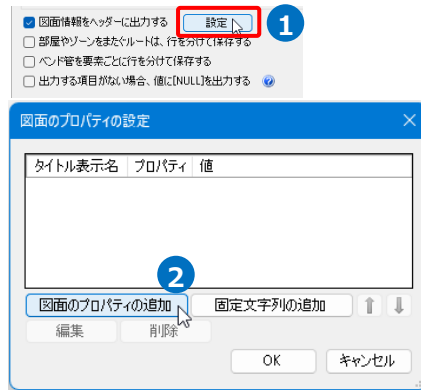
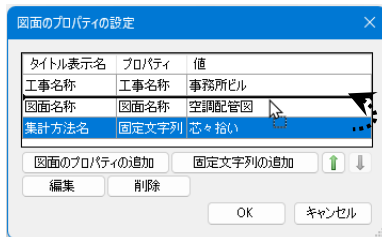
6 任意の文字列を、ヘッダーに追加できます。[タイトル表示名]と[固定文字列]を入力します。

7 [OK]をクリックします。

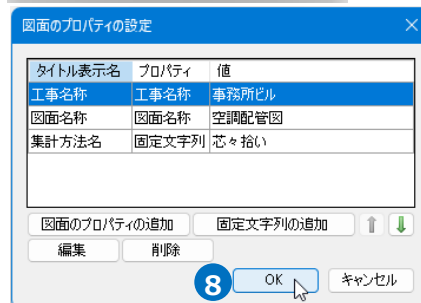
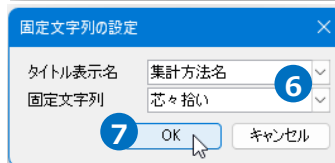
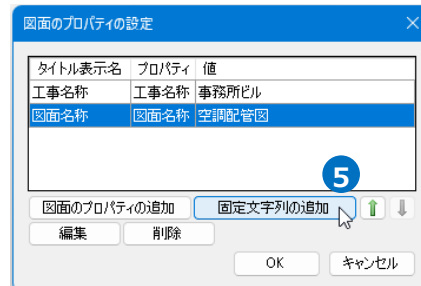
8 [図面のプロパティの設定]ダイアログに追加されます。

→[OK]をクリックします。

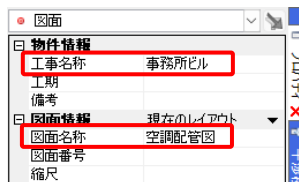
Memo
タイトル表示名の順番でCSVファイルに左から出力されます。↑↓をクリックするか、項目をドラッグすると順番を変更できます。



現在の図面のプロパティの値が表示されます。ここで値の変更はできません。



- 9 [プロパティの保存]で出力したCSV形式ファイルに、[図面のプロパティの設定]ダイアログの内容がヘッダーとして出力されます。
 CSV形式ファイルの1列目に[プロパティの読み込み][プロパティの参照]の際に内容を判断するための情報(タグ)を出力します。(「プロパティの読み込み」はp.18、「プロパティの保存」はp.25参照)



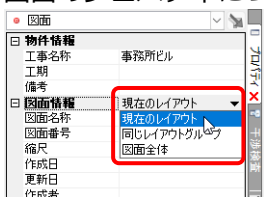
	A	B	C	D	E	H	I	J
1	<HEADER_NAME>	工事名称	図面名称	集計方法名	タイトル表示名			
2	<HEADER_VALUE>	事務所ビル	空調配管図	芯々拾い	値			
3								
4	<ITEM_NAME>	グループ	大分類	中分類	名称	用途	品目・材料品目	材料
5	<VALUE>	スリーブ・インサート / スリーブ					ボイド	

● 補足説明

図面情報は図面のプロパティの値が反映されます。

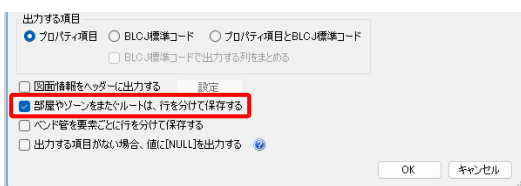
図面のプロパティの[図面情報]が[現在のレイアウト]の場合は、操作中のレイアウトの値になります。[同じレイアウトグループ][図面全体]が選択されている場合、選択された範囲で値が同一ではないプロパティ項目の値は空欄になります。

図面のプロパティについてはテクニカルガイド「[図枠](#)」をご参照ください。



【部屋やゾーンをまたぐルートは、行を分けて保存する】

部屋やゾーンがある場合、「長さ」「重量」「加工方法」「加工DB」を部屋やゾーンごとに分けて出力するかどうかを設定します。(部屋、ゾーンについてはテクニカルガイド「[ゾーン・部屋・システム管理](#)」参照)



チェックを入れた場合

	A	B	C	D	E	F	G
1	グループ	用途	品目・材料	サイズ	部屋	長さ(芯々)	個数(合計)
2	配管・ダクト / 配管	給水	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(屋内外用)	80A	洗面所	2456.51	1
3	配管・ダクト / 配管	給水	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(屋内外用)	80A	湯沸室	2543.49	1

チェックを外した場合

	A	B	C	D	E	F	G
1	グループ	用途	品目・材料	サイズ	部屋	長さ(芯々)	個数(合計)
2	配管・ダクト / 配管	給水	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(屋内外用)	80A	湯沸室、洗面所	5000	1

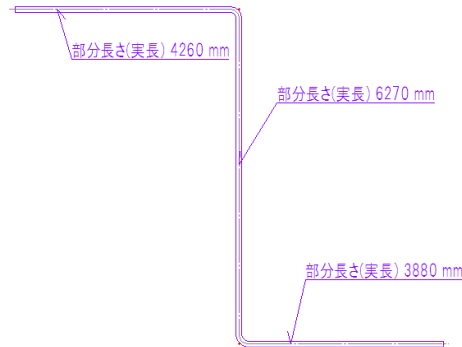


部屋をまたいで作図します。

[バンド管を要素ごとに行を分けて保存する]

バンドで接続されているルートに対して、直部ごとに個々にプロパティを出力するか、1本にまとめて出力するかを設定します。

出力する項目
 プロパティ項目 BLOCJ標準コード プロパティ項目とBLOCJ標準コード
 BLOCJ標準コードで出力する列をまとめる
 図面情報をヘッダーに出力する 設定
 部屋やゾーンをまとめるルートは、行を分けて保存する
 バンド管を要素ごとに行を分けて保存する
 出力する項目がない場合、値に[NULL]を出力する



チェックを入れた場合

バンドに接続する個々の直部ごとにプロパティを出力します。

長さを出す場合、直部の[長さ(実長)][長さ(芯々)]は、[部分長さ(実長)][部分長さ(芯々)]と同じ値で出力されます。

	A	B	C	D
1	グループ	要素ID	長さ(実長)	部分長さ(実長)
2	配管・ダクト / ベンド	843	282.74	282.74
3	配管・ダクト / ベンド	846	282.74	282.74
4	配管・ダクト / 配管	841	4260	4260
5	配管・ダクト / 配管	844	6270	6270
6	配管・ダクト / 配管	847	3880	3880

チェックを外した場合

バンドで接続されているルートの直部を、1本の直部にまとめてプロパティを出力します。

流れ方向の最も端にある直部のプロパティを出力します。

長さを出す場合、直部の[長さ(実長)][長さ(芯々)]は、バンドも含めた長さが出力され、[部分長さ(実長)][部分長さ(芯々)]は、[長さ(実長)][長さ(芯々)]と同じ値で出力されます。

	A	B	C	D
1	グループ	要素ID	長さ(実長)	部分長さ(実長)
2	配管・ダクト / ベンド	843		282.74
3	配管・ダクト / ベンド	846		282.74
4	配管・ダクト / 配管	847	14975.49	14975.49

[出力する項目がない場合、値に[NULL]を出力する]

要素が未対応のプロパティ項目に、「[NULL]」という文字列を出力するか、空欄で出力するかを設定できます。

[プロパティの読み込み][プロパティの参照]時、「[NULL]」は無視されます。

出力する項目
● プロパティ項目 ○ BLOC標準コード ○ プロパティ項目とBLOC標準コード
□ BLOC標準コードで出力する列をまとめる

□ 図面情報をヘッダーに出力する 設定
□ 部屋やゾーンをまとめる時は、行を分けて保存する
□ ベッド等を要素ごとに行を分けて保存する
 出力する項目がない場合、値に[NULL]を出力する

OK キャンセル

チェックを入れた場合

要素が未対応のプロパティ項目には「[NULL]」という文字列を出力し、要素が対応していて未設定のプロパティ項目は空欄で出力します。これにより、プロパティ項目が未対応なのか、プロパティ値が未設定なのかの区別をつけることができます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	名称	基準フロア	サイズ	長さ(芯々)	機器番号	型番	搬入日
2	4方向カセット形ビル用マルチエアコン 45形	1FL	[NULL]	[NULL]	PAC-1	45形	9月1日
3	ドレン(空調)配管 25A	1FL	25	2640	[NULL]	[NULL]	

チェックを外した場合

プロパティ項目が未設定、未対応、両方空欄で出力します。

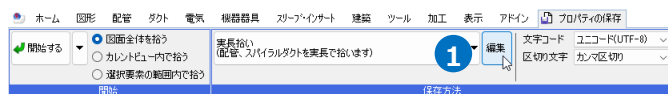
	A	B	C	D	E	F	G
1	名称	基準フロア	サイズ	長さ(芯々)	機器番号	型番	搬入日
2	4方向カセット形ビル用マルチエアコン 45形	1FL			PAC-1	45形	9月1日
3	ドレン(空調)配管 25A	1FL	25	2640			

項目は対応しているが、値が未設定

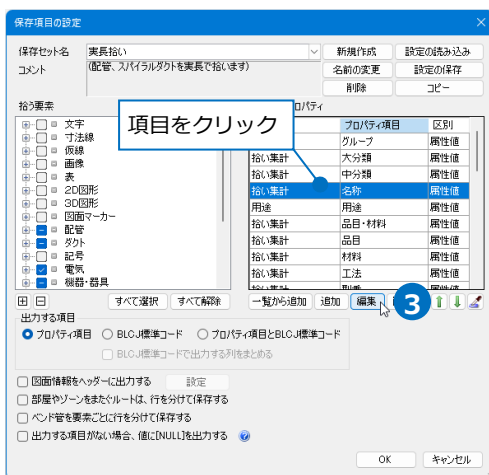
保存セットの編集

対象、プロパティ項目の変更

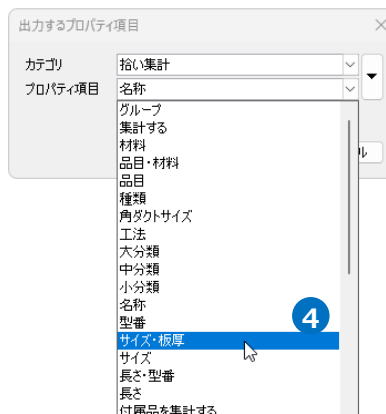
- 1 [ツール]タブ-[プロパティ]をクリックし、[プロパティの保存]より編集する保存セットを選択し、[編集]をクリックします。
- 2 [保存項目の設定]ダイアログの[拾う要素]で、保存する要素を変更します。



- 3 [出力するプロパティ]で、保存する項目を変更します。項目を指定し、[編集]をクリックします。

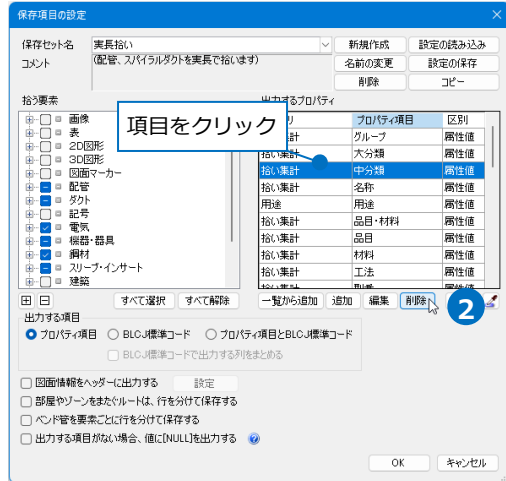
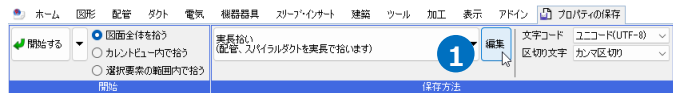


- 4 [出力するプロパティ項目]ダイアログで[カテゴリ]と[プロパティ項目]を変更します。



プロパティ項目の削除

- 1 [ツール]タブ-[プロパティ]をクリックし、[プロパティの保存]より編集する保存セットを選択し、[編集]をクリックします。
- 2 [保存項目の設定]ダイアログの[出力するプロパティ]から項目を指定し、[削除]をクリックします。

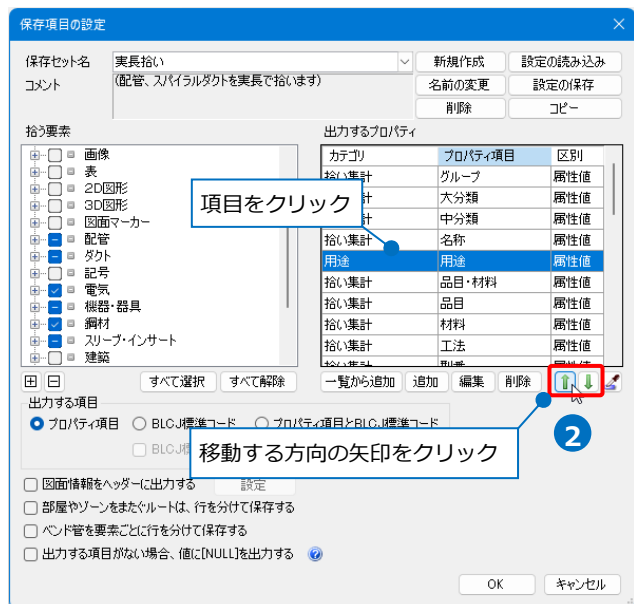
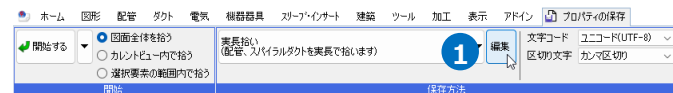


表示順の変更

保存したテキストファイルは、[出力するプロパティ]の項目の順に左から表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
1	グループ	大分類	中分類	名称	用途	品目・材料		品目	材料	工法	型番
2	機器・器具 / 衛生器具	トイレ	パブリックトイレ	センサー大便器							RC-950S・DV-155AF
3	機器・器具 / 衛生器具	トイレ	小便器	小便器							器具
4	配管・ダクト / 継手				汚水	MDジョイント					
5	配管・ダクト / 継手				汚水	MDジョイント					パッキンセット
6	配管・ダクト / 配管				汚水	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管					

- 1 [ツール]タブ-[プロパティ]をクリックし、[プロパティの保存]より編集する保存セットを選択し、[編集]をクリックします。
- 2 [保存項目の設定]ダイアログの[出力するプロパティ]で表示順を変更する項目を指定し、矢印をクリックします。



Memo

項目をドラッグしても順番を変更できます。

出力するプロパティ

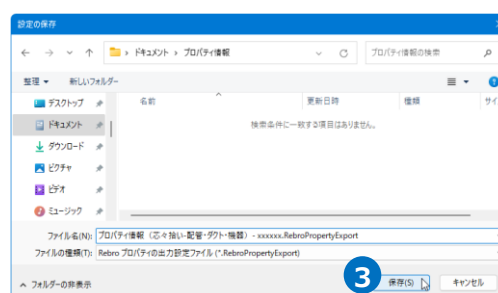
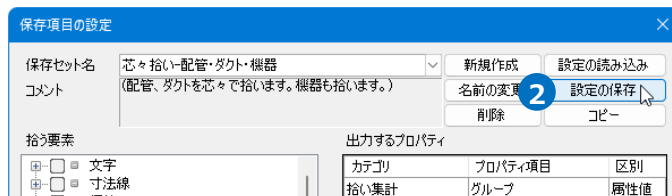
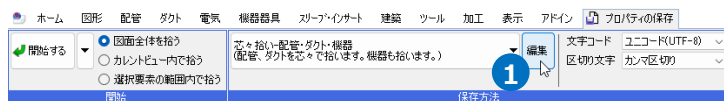
カテゴリ	プロパティ項目	区別
拾い集計	グループ	属性値
拾い集計	大分類	属性値
拾い集計	中分類	属性値
拾い集計	名称	属性値
用途	用途	属性値
拾い集計	品目・材料	属性値
拾い集計	品目	属性値

保存セットの保存・読み込み

作成した保存セットを他のPCに受け渡すには設定ファイルを作成します。

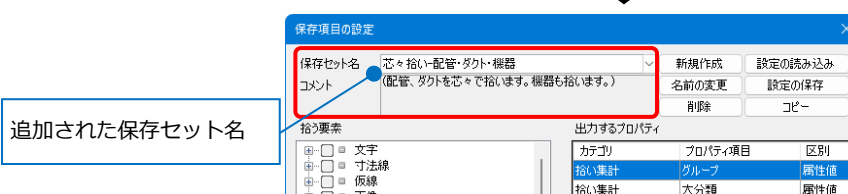
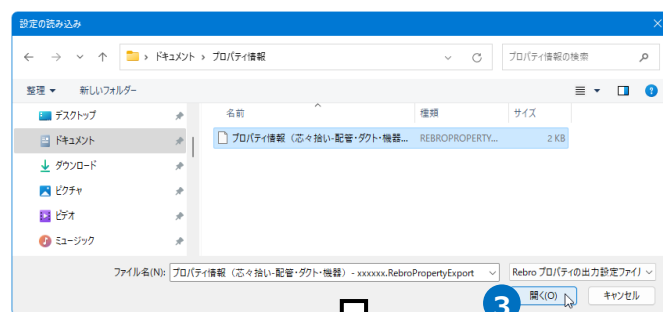
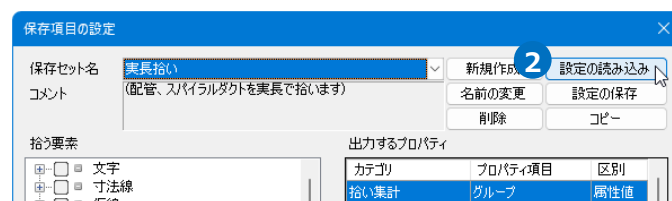
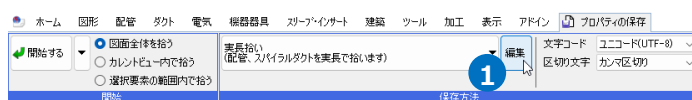
設定ファイルを保存する

- 1 [ツール]タブ-[プロパティ]をクリックし、[プロパティの保存]より保存セットを選択して[編集]をクリックします。
- 2 [保存項目の設定]ダイアログより[設定の保存]をクリックします。
→[設定の保存]ダイアログが開きます。
- 3 [設定の保存]ダイアログでファイル名を入力して[保存]をクリックします。
→プロパティ情報の出力設定ファイル (*.RebroPropertyExport)を保存します。



設定ファイルを読み込む

- 1 [ツール]タブ-[プロパティ]をクリックし、[プロパティの保存]より[編集]をクリックします。
- 2 [保存項目の設定]ダイアログより[設定の読み込み]をクリックします。
→[設定の読み込み]ダイアログが開きます。
- 3 [設定の読み込み]ダイアログからプロパティ情報の出力設定ファイル (*.RebroPropertyExport)を選択し、[開く]をクリックします。
→保存セットが追加されます。



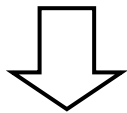
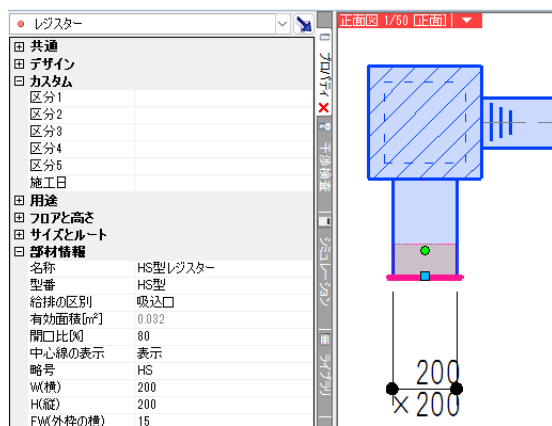
3.プロパティの読み込み

[プロパティの読み込み]コマンドで、[プロパティの保存]から出力したCSV形式ファイルの情報を、図面上の要素に読み込むことができます。

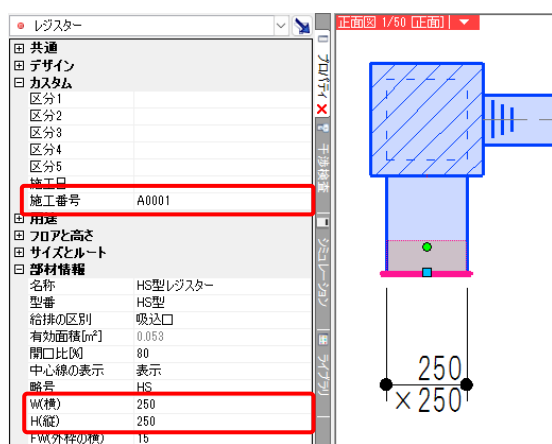
読み込みに対応している項目

機器などの部材情報やカスタムプロパティに項目や値の読み込みをしたり、一部の制気口やパラメトリック部材のパラメータ値をCSVの情報に上書きし、大きさを変更することができます。

読み込みに対応している項目は次のページのとおりです。



	A	B	C	D	E	F	G
1	名称	基準フロア	高さ	W(横)	H(縦)	施工番号	GUID
2	吸込口	HS 200 × 200	1FL	1269	250	250	A0001 2D2Xts5xTC8gLLFwopUThh



[プロパティの読み込み]で読み込めるプロパティ情報は以下の通りです。

プロパティ	要素
[部材情報]※1	[部材情報]-[機器番号]の項目がある機器器具
[部材情報]-[W(横)][H(縦)] ※2	制気口(レジスター)
[部材情報]-[L(長さ)][W(幅)] ※2	制気口(ブリーズライン・カームライン)
[部材パラメータ]※3	パラメトリック部材
[配光データ](編集可能な場合のみ)	照明器具
[計算]-[風量]※4、[流量]※4	配管系要素・ダクト系要素
[梁番号]-[記号]、[枝番]	梁
[カスタムプロパティ]※1	カスタムプロパティに対応する要素すべて
[ハイパーリンク]※1	ハイパーリンクに対応する要素すべて
[イメージ] ※1※5	イメージの設定に対応する要素すべて
[拾い集計]-[グループ](ユーザー部材のみ)※6、 [集計する]※6、[大分類]、[中分類]、[小分類]	拾い集計に対応する要素すべて
[電気器具]-[点滅区分]	[拾い集計]-[グループ]が「照明器具」「スイッチ」「コンセント」「電気器具」の機器器具
[配線余長]、[負荷容量[W]]、[負荷容量[kW]]、 [負荷容量[VA]]、[負荷容量[kVA]]、[相]、[電圧 [V]]、[運転時の定格電流[A]]、[運転時の最大電流 [A]]、[始動方式_工事区分]、[始動方式]	機器器具
[接続先]-[盤名称]、[種類]※6、[回路番号]、[添 字]	電気配線
[接続先]-[接続]※7、[盤名称]※8、[幹線番 号]※8、	盤
[配線]-[条数記号]※6、[敷設方法]※6※9	電気配線

※1.要素に存在しないプロパティ項目は、追加して読み込みます。

※2.図面上でサイズが変わります。

※3.パラメータ名が完全一致する場合のみ読み込みし、図面上でサイズが変わります。

※4.設定できるのは末端の要素のみです。

※5.すでに埋め込みで設定済みの項目は読み込めません。

※6.プロパティパネルのリストと同じ場合のみ読み込みます。

※7.変更すると、盤を[接続先]としている要素や、[盤の管理]などにも影響します。

※8.一対のプロパティのため、片方を読み込むともう片方も変化することがあります。

※9.要素の高さは変わりません。

読み込むファイルの作成

[プロパティの保存]でプロパティ情報を保存し、CSVファイルを出力します。

出力するCSVファイルには、図面上の要素を割り出すことができるキーとなるプロパティ情報が必要です。



	A	B	C	D	E
1	部屋	機器番号	枝番号	名称	型番
2	事務室1	PAC-1	1	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン	36型
3	事務室1	PAC-1	2	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン	36型
4	事務室1	PAC-1	3	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン	36型
5	事務室1	PAC-1	4	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン	36型
6	事務室1	PAC-1	5	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン	36型
7	事務室1	PAC-1	6	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン	36型
8	事務室1	PAC-1	7	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン	36型
9	事務室1	PAC-1	8	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン	36型



出力したCSVファイルに情報を追加します。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	部屋	機器番号	枝番号	施工番号	名称	型番	メーカー名	メーカー型番
2	事務室1	PAC-1	1	A0001	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン	36型	〇〇工業	FXABC36D
3	事務室1	PAC-1	2	A0002	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン	36型	〇〇工業	FXABC36D
4	事務室1	PAC-1	3	A0003	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン	36型	〇〇工業	FXABC36D
5	事務室1	PAC-1	4	A0004	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン	36型	〇〇工業	FXABC36D
6	事務室1	PAC-1	5	A0005	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン	36型	〇〇工業	FXABC36D
7	事務室1	PAC-1	6	A0006	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン	36型	〇〇工業	FXABC36D
8	事務室1	PAC-1	7	A0007	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン	36型	〇〇工業	FXABC36D
9	事務室1	PAC-1	8	A0008	ラウンドフローカセット形 ビル用マルチエアコン	36型	〇〇工業	FXABC36D

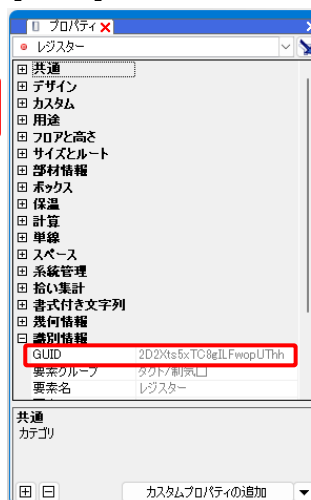
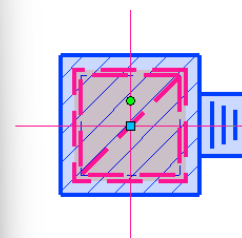
機器番号と枝番号の値が一致した要素ごとに同じ情報を追加

● 補足説明

図面上の要素には、各要素を識別するためのユニークな番号(GUID)が割り振られます。

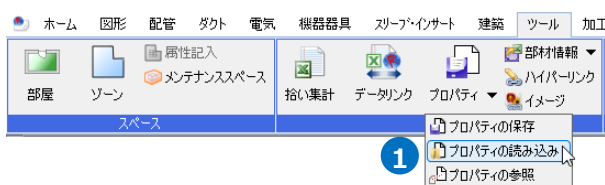
要素を特定するプロパティ項目が見当たらない場合は、[識別情報]-[GUID]をキーとして出力すると、図面上の各要素を割り出すことができます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	名称	基準フロア	高さ	W(横)	H(縦)	施工番号	GUID
2	吸込口 HS 200×200	1FL	1269	250	250	A0001	2D2Xts5xTC8gLFwopUThh

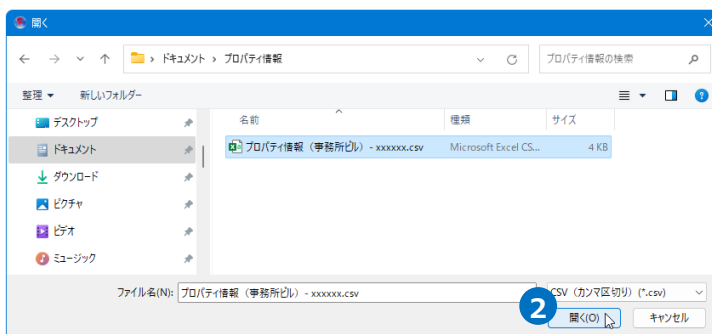



プロパティの読み込み

- 1 [ツール]タブ-[プロパティ]をクリックし、[プロパティの読み込み]をクリックします。



- 2 [開く]ダイアログが表示されます。情報を追加したCSVファイルを選択して[開く]をクリックします。



- 3 [プロパティの読み込み]ダイアログが開きます。

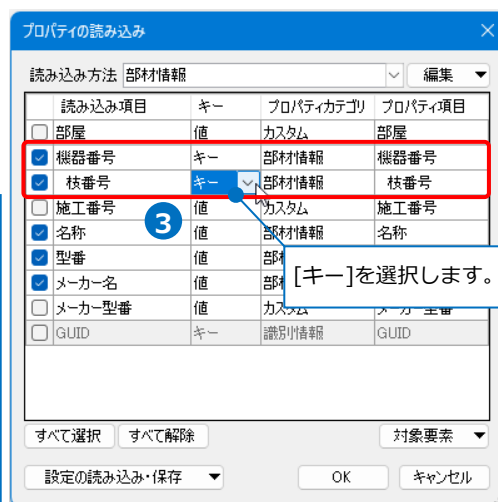
キーとして参照するプロパティにチェックを入れ、[キー]を選択します。

Memo

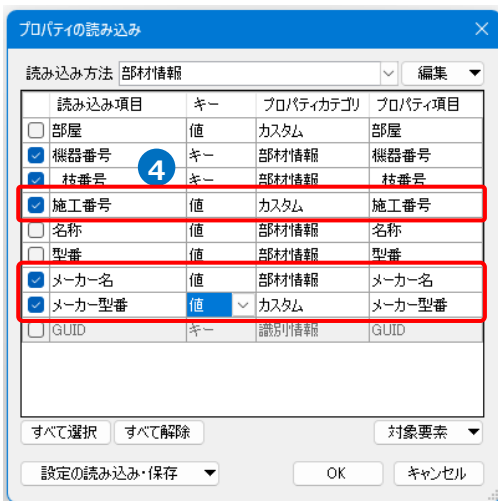
[キー]として指定した項目のプロパティ値とCSV形式ファイルの値が一致する要素を紐づけます。

[値]を選択すると、[キー]に一致した要素の指定したプロパティにCSV形式ファイルの値を読み込みます。

キーが1つだけではレブロの要素とCSV形式ファイルの要素を紐づけられない場合、キーを複数設定でき、両方の値に当てはまる要素にのみ読み込まれます。



- 4 読み込みたい情報にチェックを入れ、[値]を選択します。



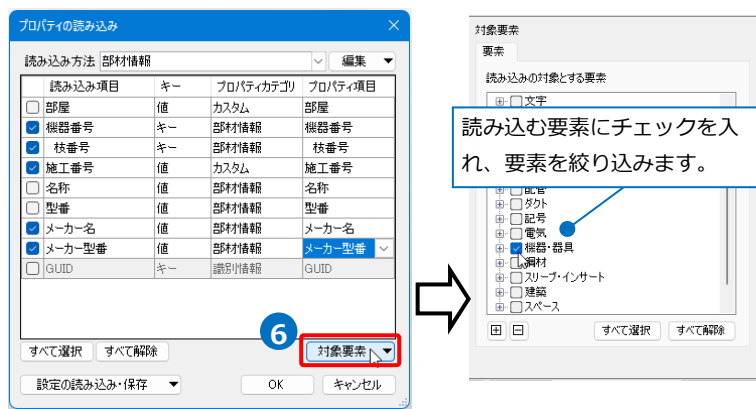
5 追加する[プロパティカテゴリ]、[プロパティ項目]を指定します。

Memo

カテゴリ[部材情報][カスタム]を選択した場合は、プロパティ項目を手入力し、項目を追加することも可能です。



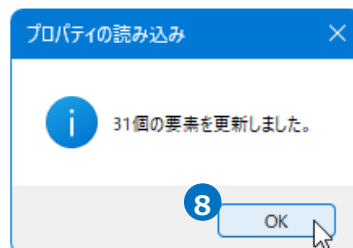
6 読み込む要素を絞り込む場合は、[対象要素]をクリックします。
[要素]ごとに絞り込むことができます。



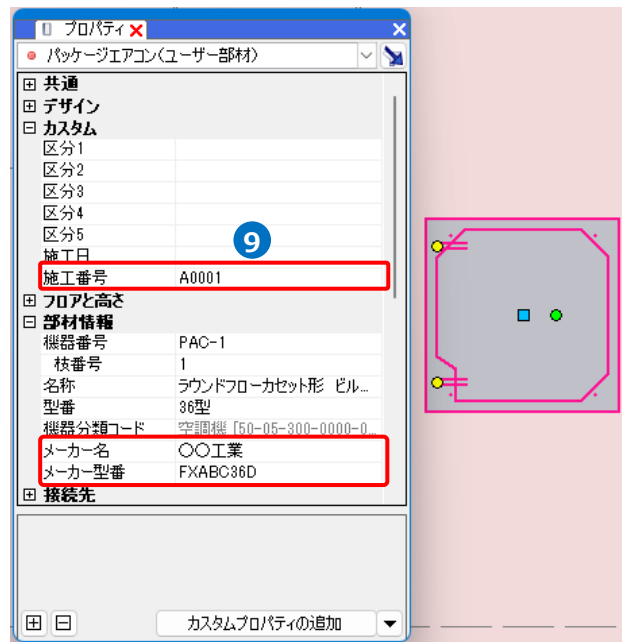
7 [OK]をクリックします。



8 更新した要素の数が表示されます。
[OK]をクリックします。



- 9 キーが一致する要素に対して、チェックを入れた情報が要素のプロパティに読み込まれます。



● 補足説明

CSV形式ファイルの値が「[NULL]」の場合は、読み込まれず無視されます。

[プロパティの保存]の[保存項目の設定]ダイアログで、[出力する項目](p.10参照)の「プロパティ項目とBLCJ標準コード」を選択して出力したCSVファイルを読み込みする場合、既存のBLCJ標準仕様属性コードは、読み込んだCSVファイルのBLCJ標準仕様属性コードで上書きされます。

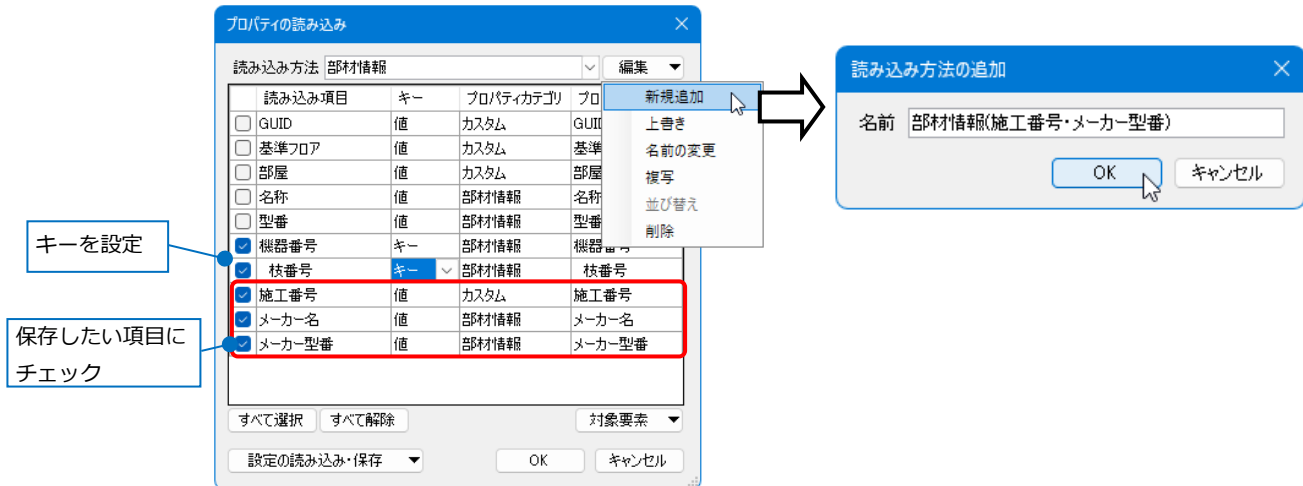
また、[図面情報をヘッダーに出力する]にチェックを入れて出力したCSVファイルを読み込みする場合、図面情報のヘッダーは無視されるため、図面のプロパティは参照されません。

読み込み方法の編集

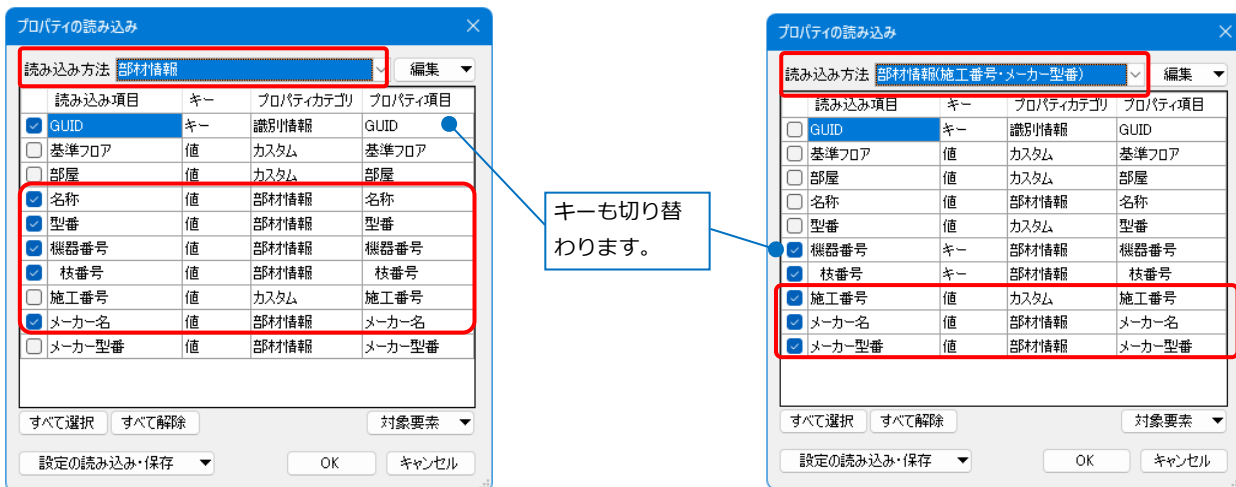
[プロパティの読み込み]ダイアログで、チェックの入っている項目を[読み込み方法]として保存できます。

キーを設定し、保存したい項目にチェックを入れ、[編集]-[新規追加]をクリックします。

[読み込み方法の追加]ダイアログで「名前」を入力します。



チェックの入っている項目を対象として読み込み方法を新規に追加し、[読み込み方法]の切り替えができるようになります。



[新規追加]以外にも[編集]をクリックして下記の編集を行えます。

編集		
新規追加		
上書き	[上書き]	チェックの入っている項目を対象として現在の読み込み方法に上書きします。
名前の変更	[名前の変更]	現在の読み込み方法の名称を変更します。
複写	[複写]	現在の読み込み方法を複写します。
並び替え	[並び替え]	読み込み方法の並びを変更します。
削除	[削除]	現在の読み込み方法を削除します。

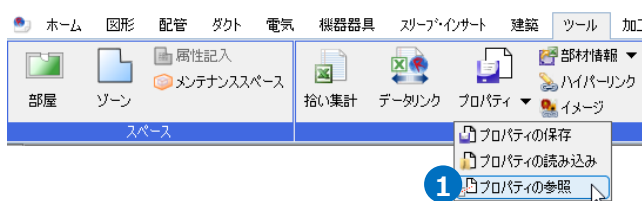
4.プロパティの参照

[プロパティの参照]コマンドでCSVファイルのプロパティ情報を参照し「部材情報」か「カスタムプロパティ」として表示することができます。「部材情報」は「VAV」「CAV」「機器器具(「機器番号」に対応しているもの)」のみ、「カスタムプロパティ」はすべての要素に対応しています。「GUID」という項目名があれば、自動的にキーにして同じGUIDを持つ要素に値を設定します。CSVファイルの項目と値は、設定の更新時や図面を開いた際に読み込まれます。

※プロパティの参照を行っている図面をRebroViewerで開いた場合、参照しているプロパティ情報を[進捗管理]などで利用することができます。

CSVファイルの参照

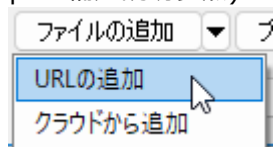
- 1 [ツール]タブ-[プロパティ]をクリックし、[プロパティの参照]をクリックします。



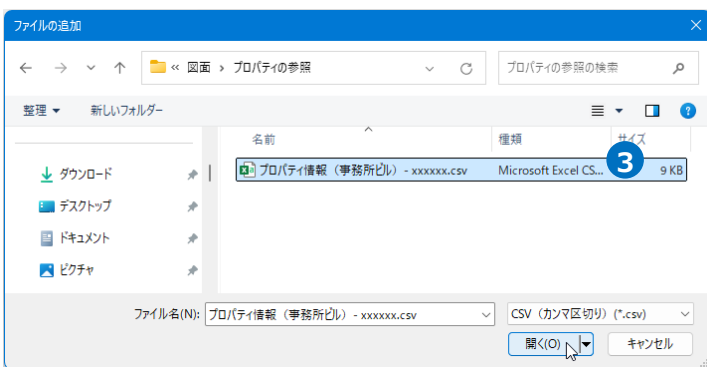
- 2 [プロパティの参照]ダイアログの[ファイルの追加]をクリックします。



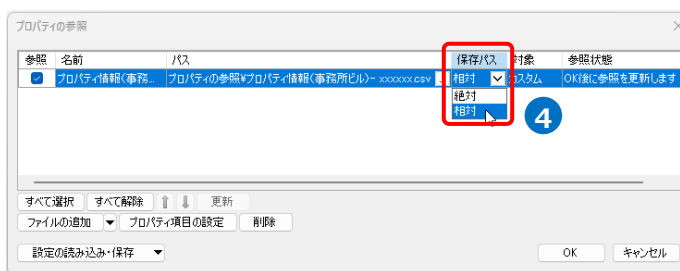
Memo
複数のCSVファイルを参照できます。
また、[ファイルの追加]横の[▼]の
[URLの追加][クラウドから追加]から
Web上やクラウドなどに配置された
CSV形式ファイルの情報を参照する
ことができます。(クラウドから追加)に
ついてはp.28補足説明参照)



- 3 参照するCSVファイルを選択して[開く]をクリックします。

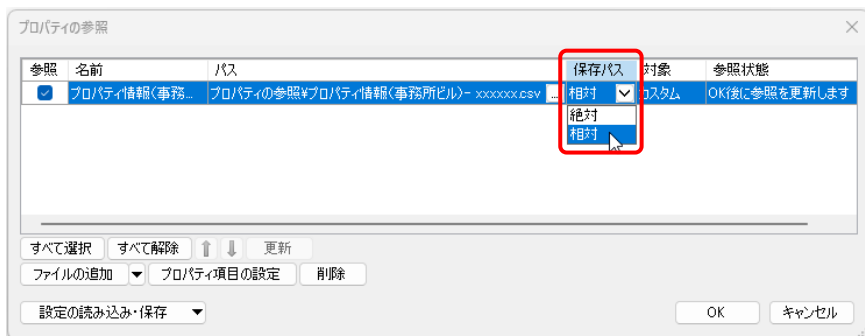


- 4 [保存パス]を「絶対」または「相対」から選択します。



● 補足説明

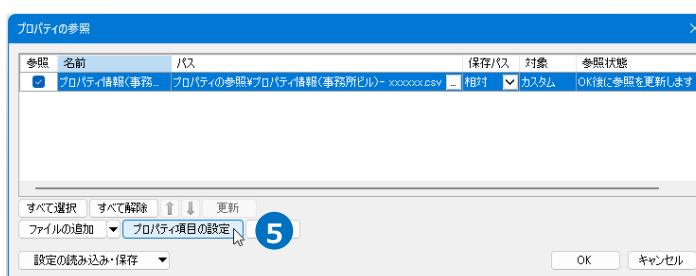
保存パスには、「絶対」と「相対」があります。



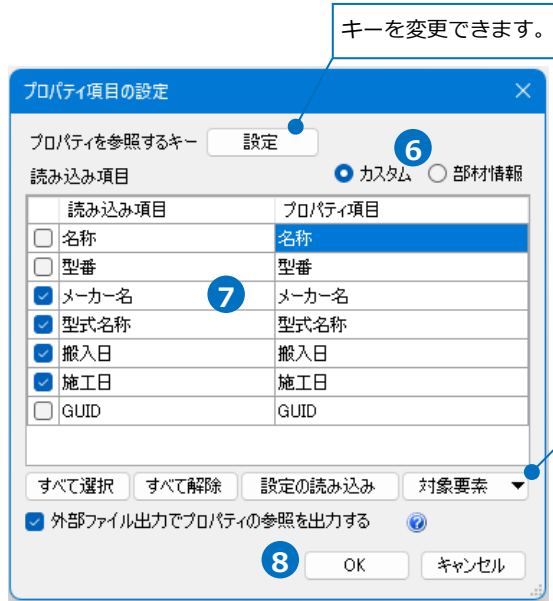
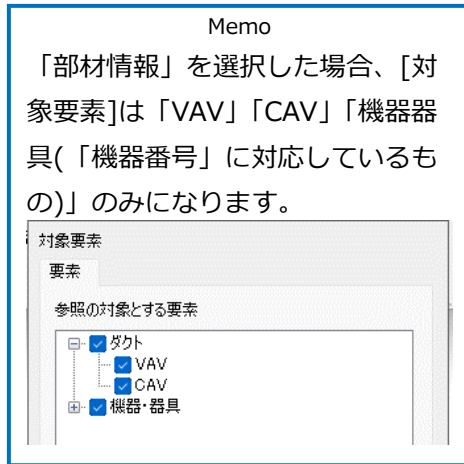
「絶対」は、PC名やドライブを基点とし、参照元の図面がどこにあっても同じ位置を指します。そのため、参照元の図面ファイルを別の場所に移動や保存しても参照することができます。ただし、参照先のCSVファイルを別の場所に移動した場合は、参照することができません。

「相対」は、参照元の図面からの相対位置を指します。参照先のCSVファイルと参照元図面の位置関係を変えずにファイルを移動した場合、参照することができます。

- 5 [プロパティ項目の設定]をクリックします。



- 6 [プロパティ項目の設定]ダイアログで読み込むプロパティカテゴリを「カスタム」「部材情報」から選択します。

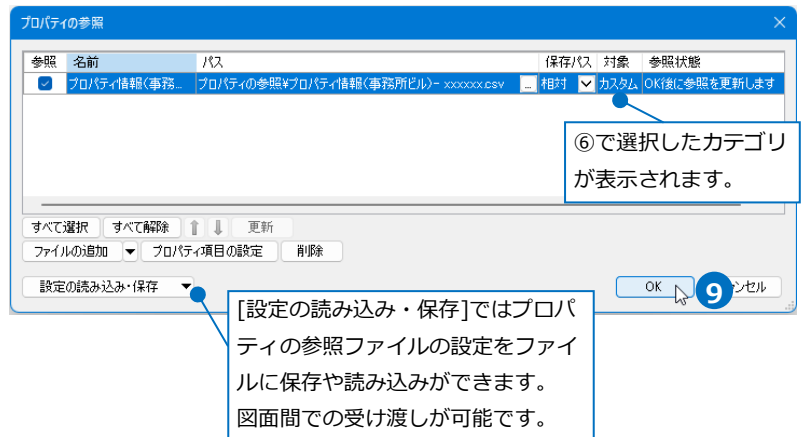


[対象要素]をクリックし、参照の対象とする要素を選択できます。

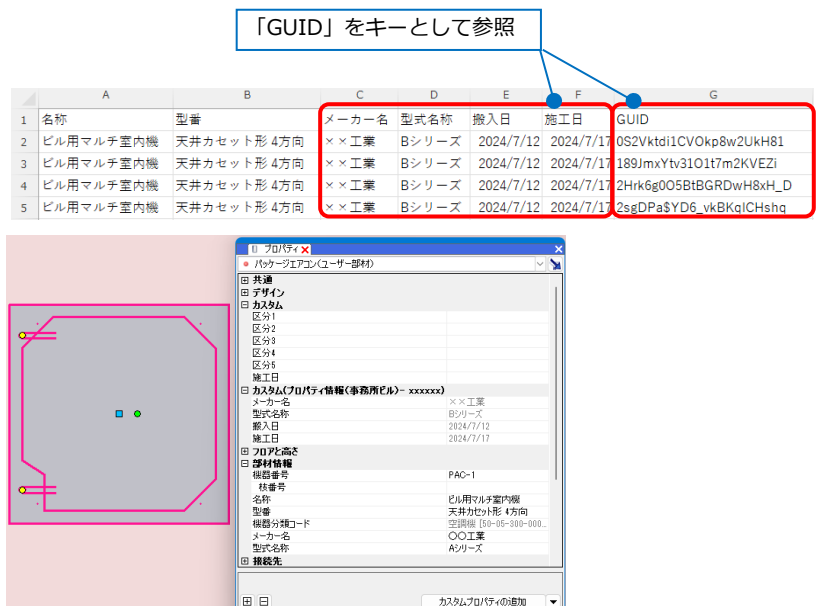
- 7 [読み込み項目]で参照する項目にチェックを入れます。
※[プロパティ項目]をダブルクリックすると、プロパティに表示する項目名を変更することができます。

- 8 [プロパティ項目の設定]ダイアログの[OK]をクリックします。

- 9 [プロパティの参照]ダイアログの[OK]をクリックします。



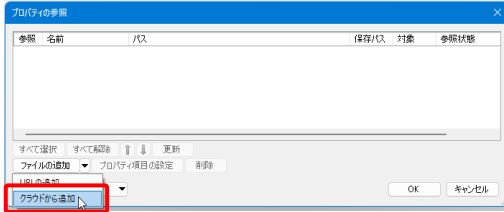
- 10 キーが一致する要素に対して、CSVファイルのプロパティ情報が、⑥で指定したカテゴリで参照されます。参照された値は読み取り専用のため編集できません。



- 補足説明

[プロパティの参照]で使用するCSVファイルを、クラウドから追加することができます。

[プロパティの参照]ダイアログの[ファイルの追加]横の[▼]-[クラウドから追加]をクリックします。



[参照ファイルの追加]ダイアログで使用したいクラウドストレージサービスを選択します。初回はログインを行うため、ブラウザが開きます。ログイン情報を入力してください。



「Autodesk Construction Cloud Docs、BIM360 Docs」または「BOX」のストレージとの接続を行う場合、アプリ登録する必要があります。詳細については、弊社ホームページ [資料](#) の[クラウドストレージサービス]の項目を参照ください。

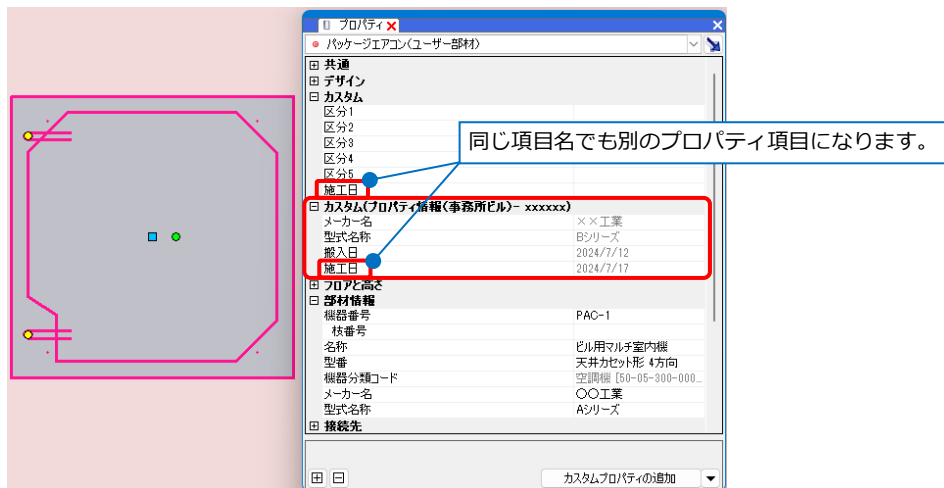
(購入者専用ページのパスワードは、[ホーム]タブ-[バージョン]から確認できます。)

読み込むカテゴリ

p.27⑥の[プロパティ項目の設定]ダイアログで選択したカテゴリによって動きが異なります。

「カスタム」

既存のカテゴリ「カスタム」とは別のカテゴリ「カスタム(ファイル名)」を追加して参照されます。「カスタム」と同じ項目名がある場合も、別のプロパティ項目として参照されます。



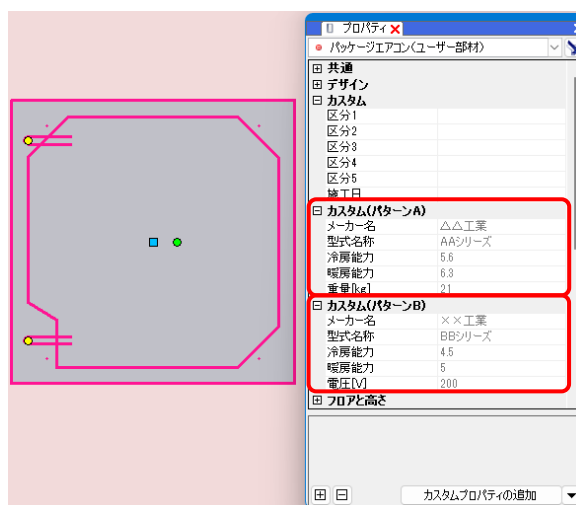
複数のファイルをカスタムプロパティとして参照した場合は、CSVファイルごとに別のカテゴリとして参照します。

パターンA.csv

	A	B	C	D	E	F
1	メーカー名	型式名称	冷房能力	暖房能力	重量[kg]	GUID
2	△△工業	AAシリーズ	5.6	6.3	21	0S2Vktjd1CVokp8w2UkH81
3	△△工業	AAシリーズ	5.6	6.3	21	189JmxYtv31O1t7m2KVEZI
4	△△工業	AAシリーズ	5.6	6.3	21	2Hrk6g0O5BtBGRDwH8xH_D
5	△△工業	AAシリーズ	5.6	6.3	21	2sgDPa\$YD6_vkBKq1CHshq

パターンB.csv

	A	B	C	D	E	F
1	メーカー名	型式名称	冷房能力	暖房能力	電圧[V]	GUID
2	××工業	BBシリーズ	4.5	5	200	0S2Vktjd1CVokp8w2UkH81
3	××工業	BBシリーズ	4.5	5	200	189JmxYtv31O1t7m2KVEZI
4	××工業	BBシリーズ	4.5	5	200	2Hrk6g0O5BtBGRDwH8xH_D
5	××工業	BBシリーズ	4.5	5	200	2sgDPa\$YD6_vkBKq1CHshq



「部材情報」

同じプロパティ項目名がある場合は、CSVファイルの値が上書きされて表示されます。参照が解除されると参照前の値に戻ります。同じプロパティ項目名がない場合は、既存の項目の最後に追加されます。

参照されなかった項目はそのまま編集可能な状態になります。

同じプロパティ項目名のため、CSVファイルの値が優先して表示されます。

既存の項目にないため最後に追加されます。

複数のCSVファイルを参照した場合も一つの部材情報プロパティカテゴリで参照します。同じプロパティ項目が存在した場合、[プロパティの参照]ダイアログの一覧で上にある設定のプロパティ項目を参照します。

(例) 「パターンA」、「パターンB」、2つのCSVファイルを「部材情報」で参照した場合

パターンA.csv						パターンB.csv							
A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F		
1	メーカー名	型式名称	冷房能力	暖房能力	重量[kg]	GUID	1	メーカー名	型式名称	冷房能力	暖房能力	電圧[V]	GUID
2	△△工業	AAシリーズ	5.6	6.3	21	0S2VktDi1CV0kp8w2UkH81	2	××工業	BBシリーズ	4.5	5	200	0S2VktDi1CV0kp8w2UkH81
3	△△工業	AAシリーズ	5.6	6.3	21	189JmxYtv3101t7m2KVEZi	3	××工業	BBシリーズ	4.5	5	200	189JmxYtv3101t7m2KVEZi
4	△△工業	AAシリーズ	5.6	6.3	21	2Hrk6g005BtBGRDwH8xH_D	4	××工業	BBシリーズ	4.5	5	200	2Hrk6g005BtBGRDwH8xH_D
5	△△工業	AAシリーズ	5.6	6.3	21	2sgDPa\$YD6_vkBKqICHshq	5	××工業	BBシリーズ	4.5	5	200	2sgDPa\$YD6_vkBKqICHshq

「パターンA」が上

参照	名前	パス	保存パス	対象	参照状態
<input checked="" type="checkbox"/>	パターンA	パターンA.csv	相対	部材情報	OK後に参照を更新します
<input checked="" type="checkbox"/>	パターンB	パターンB.csv	相対	部材情報	OK後に参照を更新します

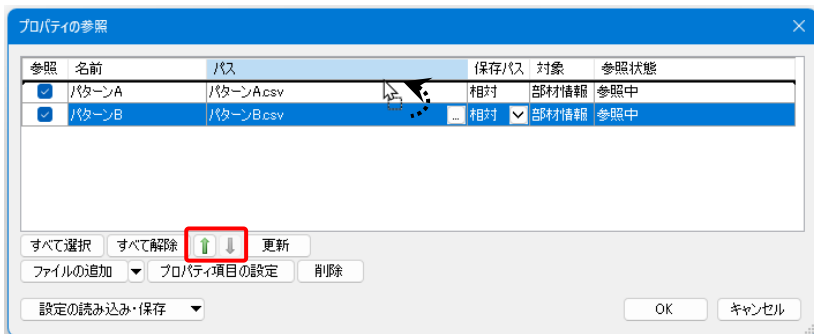
同じ項目名のため、上にある「パターンA」の値で上書きされています。

項目名が重複しない場合は、そのまま読み込まれます。

- 補足説明

CSVファイルの順番はドラッグで変更できます。

矢印でも変更できます。



- 補足説明

CSV形式ファイルの値が「[NULL]」の場合は、参照されません。参照していないプロパティ項目の値は編集可能です。

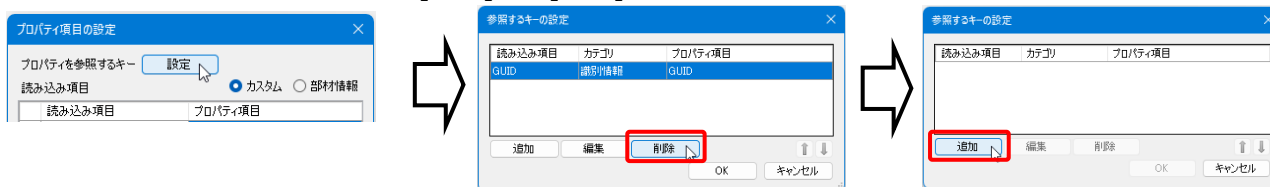
[プロパティの保存]の[保存項目の設定]ダイアログで、[出力する項目](p.10参照)の「プロパティ項目とBLCJ標準コード」を選択して出力したCSVファイルを参照する場合、既存のBLCJ標準仕様属性コードよりも参照したBLCJ標準仕様属性コードが優先されます。参照している状態で[プロパティの保存](p.2参照)を行うと、参照されたBLCJ標準仕様属性コードで出力します。同じBLCJ標準仕様属性コードでもプロパティ項目名が異なる場合は、別のプロパティ項目として参照されます。

また、[図面情報をヘッダーに出力する](p.11参照)にチェックを入れて出力したCSVファイルを参照する場合、図面情報のヘッダーは無視されるため、図面のプロパティは参照されません。

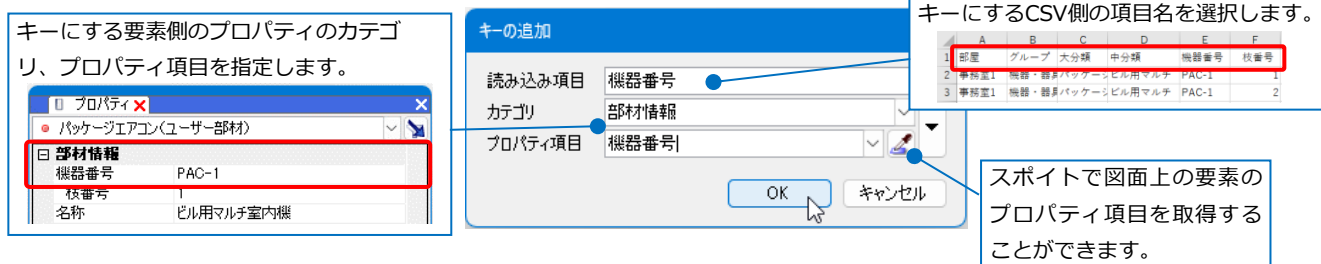
プロパティ項目の設定

キーの設定

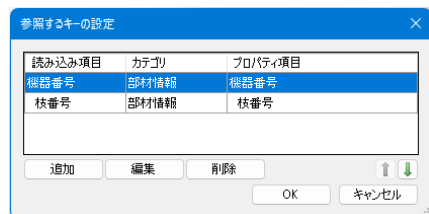
[プロパティ項目の設定]ダイアログ(p.27⑥参照)の[設定]をクリックすると、プロパティを参照するキーの設定を変更できます。不要なキーを[削除]し、[追加]をクリックしてキーの設定を追加します。



キーにする CSV 側の項目名と、要素側のプロパティのカテゴリ、プロパティ項目を指定します。

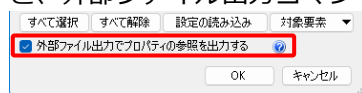


1つのキーだけでは紐づけられない場合は、複数のキーを設定することが可能です。



[外部ファイル出力でプロパティの参照を出力する]

[プロパティ項目の設定]ダイアログの[外部ファイル出力でプロパティの参照を出力する]にチェックを入れると、外部ファイル出力コマンドで参照しているプロパティ情報を出力できます。



対象の外部ファイル出力コマンドで共通の設定になります。チェックを外すと、参照前のプロパティ情報が出力されます。

対象の外部ファイル出力コマンド：

[IFC/IFCZIPファイルとして保存]、[BE-Bridgeとして保存]、[プロパティの保存]、[部材情報の保存]、[拾い集計]、[データリンク]-[Excelに保存]、[システム管理]-[Excelファイルに保存]、[Revit連携]、[みつもりくん連携]、[DK-BIM連携]、[MEL-BIM連携]、[SPIDERPLUS連携]、[CheX連携]、[BIMXD連携]、[Catenda Hub連携]、[BIMcloud連携]

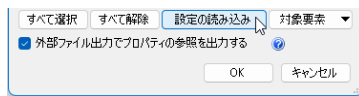
※プロパティ項目や値が変わるため、[データリンク]-[Excelに保存]時のキーや出力順にも影響します。

※[Qrespo連携]はチェック状態に関わらず[プロパティの参照]のCSVファイルの値が外部ファイルに出力されます。

設定の保存・読み込み

[プロパティ項目の設定]のキーの設定と読み込み項目の組み合わせを保存しておくことができます。

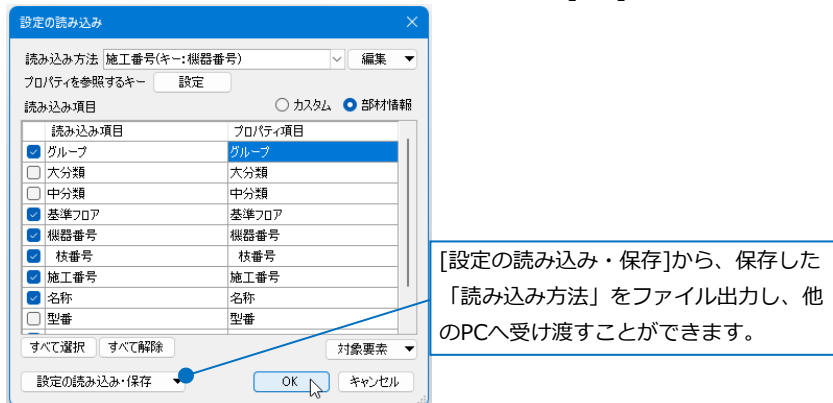
[プロパティ項目の設定]ダイアログの[設定の読み込み]を選択します。



[編集]-[新規追加]をクリックします。名前を記入し、[OK]をクリックします。



キーを設定し、読み込み項目のチェックを入れ[OK]で閉じます。



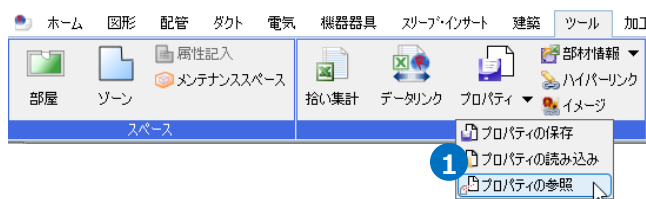
保存した読み込み方法を適用したい時は、[設定の読み込み]をクリックし、読み込み方法を選択します。

[OK]をクリックすると、読み込み方法が適用されます。



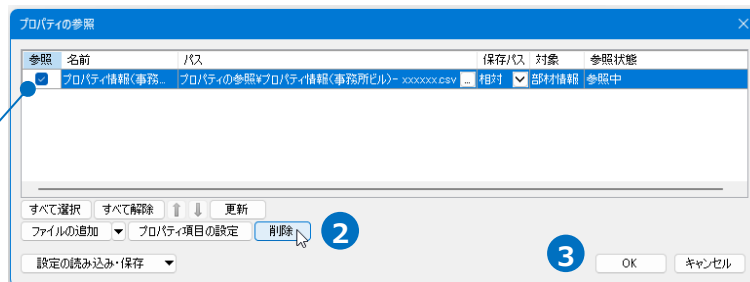
参照の削除

- 1 [ツール]タブ-[プロパティ]をクリックし、[プロパティの参照]をクリックします。



- 2 [プロパティの参照]ダイアログで削除するCSVファイルを選択し[削除]をクリックします。

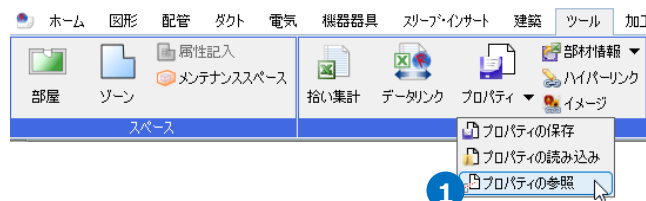
チェックを外し[OK]をクリックすると一時的に参照をオフにできます。



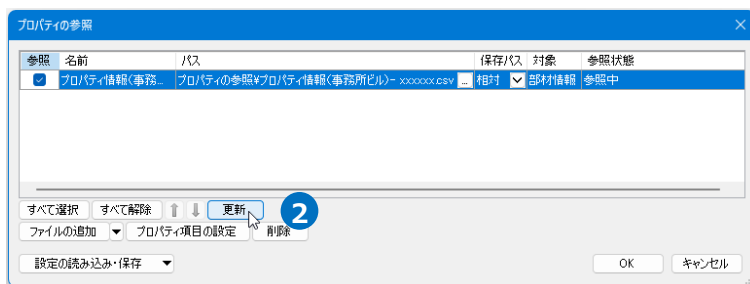
- 3 [OK]をクリックします。

参照の更新

- 1 [ツール]タブ-[プロパティ]をクリックし、[プロパティの参照]をクリックします。



- 2 [プロパティの参照]ダイアログで更新するCSVファイルを選択し[更新]をクリックします。



- 3 [OK]をクリックします。

Memo

CSVファイルを参照している図面を開き直すと自動で更新されます。

